

3月7日(木)第4回 CS 会議が開催されました。今年度の教育活動の振り返りと次年度の教育ビジョン案の審議の他、各分野からも1年間の活動内容や次年度に向けての課題などが報告されました。また会議の前には4年生の総合学習発表会が行われ、CS 委員の方々にご参観いただきました。

☆授業参観

4年生「地域を守るネムの森」発表会

砂防林の授業や松の除伐作業でお世話になった方々をお招きして、授業のまとめを発表しました。



☆報告

地域と学校パートナーシップ事業 地域教育コーディネーター 佐藤さんより

今年度はボランティアを活用した学習が増え、昨年度よりも多くの方々からご支援、ご協力をいただきました。また4年ぶりに学びの拠点を再開しフラワーアレンジメント教室を開催しました。地域の方に気軽に来校していただき、地域と学校の連携がより深まるよう努めています。

子どもふれあいスクール事業（はまとも） はまとも運営主任 佐藤さん 伊藤さんより

コロナ対応のため曜日で学年を分けて開催しました。来年度も同様に開催します。土曜日は全学年が対象で、保護者の参加も OK です。現在の実働スタッフは16名で、課題はスタッフの高齢化と人手不足です。保護者への呼びかけも行っていますが、なかなかスタッフが増えず困っています。

学校保健について 養護教諭 長谷川先生 栄養教諭 石黒先生より

保健：子どもの心身の健康を支えるための3つの柱 ①タブレット端末を含むデジタル機器の適切な使い方の理解と習慣化 ②規則正しい睡眠の習慣化 ③長期休業明けのスムーズな学校適応 で学校と家庭が連携して取り組んでいます。

給食：塩分を減らすよう、出汁を効かせるなどして工夫しています。また、食物アレルギーが増えており、間違いの無いよう何重にもチェックし細心の注意を払っています。食育活動にも力をいれていて、食育だよりを楽しく見てもらえるように掲示したり、家庭に配布したりしています。

☆審議

教育活動の振り返りと次年度の展望

今年度の児童の様子や、児童・保護者アンケートの結果等の分析から、来年度への展望が校長から示されました。

- (1) 基礎・基本の定着の高止まり→前のめりで自発的な学び、表現力の伸長
 - (2) かかわり合う機会・機能の減退→授業での交流、縦割り活動の見直し
 - (3) 自主・自立、自己肯定感の不足感→子どもの自発性を誘発する授業・諸活動の導入
 - (4) コロナ禍の空気感が続く→緩やかな移行の終了、新たな教育課程の編成
- そしてこれらを軸に考えた教育ビジョンが提案され、審議、承認されました。



……………校長先生にインタビュー!!……………

Q 浜浦小にいらして1年がたちますが、浜浦の児童・保護者・地域の印象はいかがですか？

昔から私が抱いていた子ども、地域のイメージが、そのまま目の前にあるという印象です。昔というのは私が高校生だった頃のこと、もう40年も前の話。こんなに長い間、印象が変わらないというのは、それだけ浜浦地区の子どもの色・地域の色が鮮明で確立されているからなのでしょうね。子どもの色をあえて言葉にするなら「知的で品位がある。けど、ちょっと要領は悪い」といった感じです。同級生に見せると叱られそうですが（笑）。

Q 来年度への抱負を教えてください。

皆が大切に守ってきた「浜浦の教育」を、私たちの世代も大切に継承していきます。具体的には「確かな授業」「自治的活動」をきっちり充実させていくことです。一方で、より授業を、学校を楽しんでいると感じられるような教育の在り方も追及していきます。

あとがき

今年度を締めくくる会議ということで、様々な視点から見た浜浦小児童の様子や情報を共有することができました。来年度もよろしくお願いいたします。

CS 事務員

発行 浜浦小学校 CS 事務局

☎025-266-3181

*コミュニティ・スクール通信は
ホームページでも御覧いただけます